

周防大島町の話題



▲協定を結んだ藤本町長と山口県農業協同組合 周防大島統括本部の平田浩一本部長㊟

災害時における支援活動に関する協定を新たに締結しました

災害時において、生活物資等の供給、避難場所の提供等、災害対策の活動支援を円滑に行うことを目的とし、平成26年8月1日に、周防大島町と山口大島農業協同組合とで「災害時における支援活動に関する協定」を締結していましたが、大規模断水時に応急給水活動にかかる支援等の内容を加え、4月1日に改めて山口県農業協同組合と協定書を締結しました。

新たに結んだ協定により、大規模断水時の応急給水活動において、町内の水源地から各臨時給水所までの水の運搬業務全般（車両の提供・人員の派遣含む）の協力を得られることとなります。

みかん作りの担い手に

4月5日、山口県柑きつ振興センターにおいて、「周防大島みかんいきいき営農塾」の閉講式が行われ、昨年の5月からみかん生産技術などを学んだ受講生33人が修了を迎えました。

藤本町長は、「いきいき営農塾で得た人のつながり、そしてご縁を大切にいただき、今後のみかん生産、振興にご尽力いただきたい」とあいさつしました。

また、4月20日には「JA生き活き婦農塾」の閉講式が行われ、野菜作りの基礎などを1年間学んだ17人が修了を迎えました。



▲受講生を代表して、営農塾長である藤本町長から修了証書を受け取る中司雅揮さん㊟



▲藤本町長から委嘱状を受け取る中野さん㊟

新しい地域おこし協力隊員を任命

新しい地域おこし協力隊員が決まり、4月18日、大島庁舎において委嘱状の交付式が行われました。

着任したのは、山陽小野田市出身の中野寛之さんなかのひろゆきで、主に周防大島チャンネルの番組制作・編集、観光・定住促進などの町PR動画の作成などの業務に取り組みます。

中野さんは、「地域の皆さまと積極的にコミュニケーションをとって、協力して、この周防大島町の活性化につなげるよう行動してまいります」と抱負を語りました。